

平成 30 年度 子育てコミュニティトーク(4)小学校

日時 10月15日(月)午前10時から正午まで

場所 市民交流プラザミュージックルーム2

テーマ1「地域での子育て支援について」

●教育総務部長

近年、共働き世帯や核家族世帯が増え、地域での交流や隣近所のふれあいが少なくなったと言われています。

こうしたことを背景に、平成24年に「厚木市子ども育成条例」を策定しました。その条例では、地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になれるよう、目配り声掛けなどを通じて子どもの育ちを支えることの大切さを考えています。地域では、青少年健全育成関係団体や自治会など、様々な活動が盛んに行われています。教育委員会でも、公民館を拠点として地域ぐるみ家庭教育支援を行うなど、地域で子どもを育てるための意識を高める取組も行っています。

また、今年6月から、地域の方が学校の運営に関わっていただくコミュニティスクールを全小中学校で導入しました。運営協議会を中心に、より多くの方に、学校、子どもの授業の支援に関わっていただきたいと考えています。

地域との関係を深め、地域で子育てをしていただきたいのですが、皆様が地域の行事等にどのように参加されているのか、参加されていない場合、どういった理由で参加できないかをお聞きしたいと考えています。

●自治会の方が家に自治会加入の勧誘にいられましたが、初めはお断りしました。その後、交通安全母の会に入り、自治会の方と知り合い、それを機に加入をしました。地域行事に参加して、地域に子どもがどれだけいるのか知ることができました。参加する大人は毎回一緒なので、その中でコミュニケーションがとれています。きっかけがないと地域に入ることは難しいと痛感しています。夫が単身赴任をされていて、地域とは溶け込めないと考えていたのですが、交通安全母の会に入り、地域の活動に参加できて良かったです。最近では、地域の運動会に参加しました。楽しかったです。

●教育長

地域の運動会に小学生がたくさん参加されていましたね。

●こども未来部長

引っ越して来られたのですね。母の会の活動を通して加入されたのですね。

●市長

地域に溶け込めることができ良かったです。

●教育総務部長

自治会に入って良かったと感じられましたか。

●何かあった際、周りの方と知り合いですと気持ちの余裕にもつながります。地域の活動に参加できて良かったです。

●学校の話し合いで出た意見です。地域の集まりに参加している人よりも、参加していない人の意見が多かったです。学区の境目に住んでいて、自治会内は知らない人ばかりなので地域の行事

には出ないという意見や、マンションなどで自治会に入っていないこともあり、参加して良いのか悩むようです。

●教育総務部長

学区と自治会が違う所が一部あります。やはり、参加しづらいですかね。

●お知らせなどで住んでいる地域の情報も入りますが、学区が違うと参加しづらいです。

●現在は、住んでいる学区とは違う、隣の学区の小学校に通っています。1年間は住んでいる学区の小学校に通っていましたが、隣の学区の小学校への誘いがあり、見学した際すばらしい小学校だったため、子どもと相談して転校しました。現在通っている小学校の取組は地域と密着している感じだと驚くことがあります。行事などは誰が何をやるか分担が決まっています、たくさん活動されていることを知りました。やると楽しいですし、子どもたちも参加して楽しいようです。やって良かったなと思います。小学校側の自治会に入っていて、住んでいる学区の小学校の友達に行事のお誘いをしますが、やはり、小学校が違うと参加は難しいと感じます。住んでいる地域の自治会のチラシなどは来ないので、そちらへは友達から話を聞いて行きます。地域や学校が選べると、逆に難しいなと感じます。

●教育総務部長

学校が変わることで、自治会の活動に参加するようになったのですね。

●そうですね。地域の運動会にも参加しました。

●教育総務部長

住んでいる地域の自治会には入られていませんが、行事に行くのと参加させてもらえますか。

●夏祭りに参加しました。ただ、お楽しみ券がなくて、景品がもらえないことがあります。

●市外にいましたが地元に戻ってきました。学区内で、子どもが多い地区と少ない地区との差が顕著です。開発が進んでいる所は家が建ち、子どもが非常に多くなっています。そのため、子ども会の活動が盛んで、地区の8割、人数で言えば70人近くの子供がいます。子ども会がきっかけとなって地域活動に参加される世帯もあり、入口としては良いのではと感じています。学区全体で子どもが参加できるものがあると良いのではと感じています。

●教育総務部長

地元ということもあり、地域の活動に入りやすかったこともあったかのだと思います。活動に参加されていない方の意見などを聞かれたことはありませんか。

●共働きで役員を務めることが難しかったり、子どもはスポーツや塾などで忙しいこともあり、子ども会の活動とは一線を引いている方もいるようです。

●地元の人が多い地域で、自治会には皆さん参加しているようです。家に自治会の加入のお誘いの方が来られて、加入しました。地域の方々と仲良くなるうちに、夫が役員を務めるようになりました。子どもたちは地域の運動会などに参加して、楽しい思いもたくさんしています。PTA、子ども会などの仕事は、みんなが当たるようになっています。自治会活動に協力的な地域です。

●夫の両親が自治会に入っていたので、同じく入りました。役員は上の年代の方がやっています。自治会の仕事は当番制です。行事に参加できる人は、回覧板が回ってきたときに名前を書きます。子どもたちは子ども会で参加することが決まっています。地域の運動会にも参加しました。学校でもチラシを置いているので、子ども会に入っていない人も参加できます。清掃など自治会の年配の方中心で行われています。交流というほどではありませんが、自治会に入っていない人も、来るもの拒まずの地域です。

●5年ほど前に今住んでいる所に引っ越して、自治会の方が勧誘に来られたので加入しました。自治会に入って、たくさん情報を知ることができました。夫は平日お休みで、土・日曜日は子どもが習い事なので、地域の運動会などには参加できていません。地域の行事は土・日曜日が多く、子どもは参加したいようですが、習い事を休ませてまで参加するのはどうかと考えてしまいます。数年前、運動会の日程がずれたため、その際は参加させてもらいました。参加者数が少なく、対象競技は全部出してくれと言われました。いろいろと負担が大きいと感じました。子ども会については、子どもが少なく、行事は年に数回です。子ども会に入ると役員もやることになります。地域の方と接する機会が増えて来て、皆さんに支えられながら子育てができていると、少しずつ感じています。子ども会は、ゆくゆくはなくなってしまうのかと思っています。

●教育総務部長

地域の人に支えられていることを感じられているんですね。

●10年前に厚木市の社宅に引っ越してきました。入居する前に会社から自治会に加入するように言われていたので、すんなり自治会に入りました。住んでいるところは子ども会がありません。その代わりに、自治会と児童館で子どもを対象としたイベントが頻繁に開催されているので、ありがたいです。子ども会がなくても、自治会と子どもたちがコミュニケーションをとれる状態です。学校で話し合ったところ、「自治会や子ども会の催し物、活動状況をパソコンや携帯で確認できるようにしてほしい」という意見がありました。回覧板やポスターなどの紙媒体が中心で、自治会のホームページはあるのでしょうか。何でもインターネットの時代なので、専用のホームページがあると、若い世代の保護者も行事を身近に感じられるのではないのでしょうか。

●教育総務部長

自治会連絡協議会のホームページはありますが、全ての自治会ごとに作成することは難しいと思います。災害時など、地域の支援が重要になると感じています。地域の方が顔を知ってくれているだけでも、対応が違うのではと思います。今年、全学校でコミュニティスクールを導入しました。現在、情報機器が溢れていますが、国でも、できるだけ多くの人と関わる事、コミュニケーション能力や感受性を養うことが大事であると考えられています。

●市長

あいさつがあるだけでも、顔を覚えてもらえます。

●社会教育部長

本日参加されている皆さんは、ほとんどの方が自治会に入られていますね。

●こども未来部長

自治会の方々は見守り活動やごみ集積所の清掃など、地域を守ってくれています。見えないところで、様々な人に支えられています。子どもは、学校と家との往復だけではなく、いろいろな世代の方と会うことが成長の糧になります。役員が大変でやらないというお話もありますが、私たちが受けていたことをいつか返していただければうれしいなと思います。

テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

●学校教育部長

スマートフォン、パソコン、ゲーム機でもインターネットにつながる仕組みがあり、子どもが触れることでトラブルにつながることもあります。中学校になると、かなりの子どもがスマート

フォンを持っている印象です。もちろん、持っていない子もたくさんいます。スマートフォンについては、無料通話アプリのトラブルの話をよく聞きます。小学生でキッズ携帯を持たせている場合、いずれはスマートフォンデビューとなります。スマートフォンをいつから持たせるのか、持たせた際、トラブルからどう子どもを守るのか御意見をお伺いしたいです。中学生、高校生のお子さんがいられる方は、どの時期にスマートフォンデビューをしたか、機器を持たせたきっかけ、持たせることによる悩み事、約束事などをお聴きしたいです。

●小学校中学年、来年小学校に入る子どもがいます。まだ携帯電話は持たせていません。スマートフォンは高校生からと考えています。中学生のお子さんがある方から、部活の連絡が無料通話アプリになると聞いていて、中学校で部活に入ったら持たないといけないのかも、と聞いています。今のところ部活と縁がないのでどうなるか。一人だけ機器を持たずに仲間外れなどの問題があると困りますし、本人が部活をするかによって考えようと思います。

●こども未来部長

キッズ携帯も持っていられますか。欲しいと言われませんか。

●言わないです。キッズ携帯を持っている子もいますが、少数です。小学校高学年になって塾に通わせる場合、キッズ携帯くらいは持たせるべきかと迷うところです。

●学校教育部長

スマートフォンを持つきっかけが、「中学校の部活の連絡が無料通話アプリのため」という話を聞きます。ただ、全ての子が機器を持っているというわけではありません。学校の顧問には無料通話アプリでの連絡はしないように指導しています。部活の連絡は、顧問から部活の代表の方に電話連絡をしており、その後部員間で無料通話アプリになるようです。今では、無料通話アプリをやっていない大人も少なく、親のグループを作って連絡を取り合うこともあるようです。ただ、持っていることを前提とした連絡手段はおかしいことだと思います。キッズ携帯の機能として、GPSで居場所が特定できます。持たせることで安心できますが、一番は人の目が大切で、自治会や地域の力が、子どもを守るための一番の力となります。

●小学校中学年、低学年の子どもがいます。機器は持たせていません。友達何人かがキッズ携帯を持っていて、欲しいと言われましたが、本人が稼げるまでは持たせない方針です。ただ、中学生になると部活の連絡が無料通話アプリで、持っていないと保護者に連絡が行くようになるので、中学生になったら周りの状況で持たせるか考えます。以前、子どもが遊びに行っても遅く帰ってこないことがありました。一緒に遊んでいた友達がキッズ携帯を持っていて、保護者の方からどこにいるのか連絡をいただくことができました。その時はキッズ携帯を持たせたいなと思いました。GPS機能は魅力的ですが、持たせる際には家庭でルール、決まり事を作らないといけないなと思います。

●学校教育部長

持たせるにあたってのルールづくり、約束事を決めることが大事です。方針を決めて持たせないという、しっかりとした考えを持つことも素晴らしいことだと思います。「皆が持っているから」は、機器を持たせる主体的な理由ではありません。

●小学校中学年の子どもがいます。本人も興味を示していないこともあり、必要性を感じていません。高学年のお子さんがある方の話では、中学校で友達と別れてしまうので、無料通話アプリで交流するという話がありました。また、中学生になると持たせる方もいるようです。まだ漠然

としていて、いつ持たせるかは分かりません。

●学校教育部長

民間の調査では、高校生でスマートフォンを持つことが多いようです。ただ、感覚的には中学生から持ち始めることが多いと感じています。部活の連絡や、友達が離れて必要になるなど。その手段として、本当にスマートフォンが必要かどうかは、各家庭で話し合い決めていただきたいと思います。

●小学校中学年、高学年、中学生の子どもがいます。中学の子だけスマートフォンを持っています。共働きのため、小学校1年生で児童クラブに入れたのですが、子どもが嫌がったので、キッズ携帯を持たせました。その後、携帯電話を持たせ、中学でスマートフォンが欲しいと言われました。周りの子は中学1年生でほとんど持っていました。部活は連絡網で連絡が来ます。無料通話アプリではありません。でも、子どもたちは無料通話アプリが楽しみです。一人で遠出させることがあり、つい最近スマートフォンを与えました。無料通話アプリをやっていますが、メッセージの音が鳴りっぱなしです。夜遅くまでは使わせないようにしているので、朝起きるとまずは無料通話アプリのチェックを始めます。機器を持っている時間が長いなと思います。

●こども未来部長

機器を持たせた家庭の中では、夜何時まで、と時間を決めて親に預けさせるなどしているようです。部屋には持って行ってしまいますか。

●リビングだけの使用、夜は持たせない、サイトの閲覧制限、親がパスワードを決める、などしています。また、無料通話アプリで友達に送るメッセージに気を付けるように注意をしています。下の子は児童クラブに入ってくれたので、古い携帯でゲームをする程度です。与えるとすぐ使いこなせる状態にあります。

●学校教育部長

長時間の利用として、依存まではいかなくても、それに時間を縛られてしまうことがあります。クラスメイトとの無料通話アプリも、メッセージに返信しないと、「何で返してくれないの」といったやり取りがあるなど。朝見ると、ものすごい量のメッセージが来ていたという話も聞きます。約束として、部屋に持ち込ませないためにリビングの使用に限ることは良いと思います。やり取りなど内容は確認されますか。

●内容は見ません。ただ暗証番号は親が入力しないといけないようにしています。

●学校教育部長

パスワードなどの制限の掛け方は大事で、子どもたちでロックを外してしまうこともあるようです。きちんと機器を管理されていること、約束事など参考になります。

●小学校中学年、低学年の子どもがいます。まだスマートフォンなどは持っていません。周りの友達も持っていないと思います。個人的には、何か熱中するものがあれば機器も必要ないのではと考えていましたが、連絡手段に必要ということで、自分が思っていることとは違うのだと感じました。何ヶ月か前、子どもにスマートフォンが欲しいと言われました。連絡で必要というよりも、ゲームがしたかったようです。親がいるときにタブレット端末で動画を見る機会があり、機器は身近です。気を付けようと思ったこととして、自分自身が寝転んで機器を使っていることがあり、子どもはその姿を見えています。子どもの前ではあまりスマートフォンをいじらないように心掛けています。親の自覚も必要だと感じました。

●学校教育部長

昔は気軽に家庭で情報機器を使うという文化がありませんでした。今では大人がどう使っているのか、子どもは大人の姿の鏡となります。食事の時間に機器を扱っている姿を見せていけば、子どもたちはそれで良いと思ってしまいます。子どもたちの依存は問題だと言われていますが、私たちが日常で使っています。便利ではありますが、子どもにスマートフォンが必要なのか。子どもの時期にできることが、機器に時間を取られてしまいます。最近では、小さい子どもに動画を見せている姿を見かけます。ボタン操作ができなくても音声で検索できますし、機器に簡単に触れられる時代となっています。

●3人子どもがいます。携帯電話は持たせていません。高校生でアルバイトをして稼げるようになったら自分で機器を買うように話しています。住んでいるマンションの子は小学1年生でも機器を持っています。通っている小学校の友達も持っています。小学校で放課後子ども教室が実施されていて、地域の方がいろいろなことをしてくれます。帰りは17時30分ごろで、連絡の必要もなくそこで遊べるので、機器はいらないと思っています。ただ、夏の暑い日、子どもの気分が悪くなって帰って来ることがありました。その話は友達の保護者の方から連絡が来ましたが、その時は子どもに携帯を持たせていれば良かったなと思いました。また、子どもが父親と一緒にゲームをしていて、コミュニケーションのツールとなっています。

●学校教育部長

持っていない理由として、熱中できるものがあることや地域の見守りがあるため、という話がありました。皆がスマートフォンを持っている、という感覚がありますが、本当に皆が持っているのか、持っていないと困るのかと感じました。

●中学校1年生の姪は持っています。

●学校教育部長

中学校の部活は電話で情報が回せますし、友達とは毎日学校で話すことができます。ただ、子どもたちが「部活の連絡でスマートフォンが必要」と言っていることは事実です。小学校段階では、スマートフォンを持たなくても困らないとは感じますが、通話機能のみのキッズ携帯、インターネットの機能がついている機器、ゲーム機能がついている機器、様々な機器がありますので、どれが子どもに必要なのか、各家庭で見極めていただきたいと思います。コミュニケーションツールとして親子でゲームをすることは楽しいことだと思います。

●学年委員25人中4人はキッズ携帯を持っていました。持たせる際には厳しくルール決め、契約書を交わした御家庭もあるようです。今のところ、持たせて困っている等の話はありませんが、今後はどうしようという話がありました。我が家は小学校中学年、年少の子がいます。共働きになり上の子に夫の古いスマートフォンを持たせましたが、本人は全く興味がありません。私がメッセージを送信しても見ません。連絡手段として、今は便利なものと考えていますが、今後周りが持ち始めた場合、使い方自分が被害者にも加害者にもなるので、気をつけないといけないと考えています。

●学校教育部長

いずれ子どもたちが機器を欲しいと言ってきたとき、どのように持たせるのか悩み所だと思います。契約書という話がありましたが、本日配布している資料「ケータイ・スマホとのかかわり方」に誓約書がついています。持たせる際、最初の約束が大事になります。このような約束をしたらどうか、という参考にいただければと思います。

●小学校中学年の子どもがいます。まだ機器を欲しいとは言われていません。クラスの子も持っ

ていません。ただ、古い携帯を家のWi-Fi環境がある所で、ゲームだけに使わせています。決まり事として、欲しいゲームがあると、今あるゲームを消すことにしています。また、自分でタイマーを押すようにさせていますが、時間を守りません。食事の時間にもやることがあるので、ケンカになります。スマートフォンを持たせる時期は、高校生くらいだと考えています。自分でアルバイトをしてお金が稼げるようになったら。ただ、周りのお子さんの状況では、持たせることも考えないといけないと思います。他の方から聞いた感じでは、男の子よりも女の子の方がスマートフォンを持ちたがるのではないのでしょうか。スマートフォンを持っていないお子さんのお母さんが、持っている子と連絡を取り合うこともあるようです。他のお母さんにオープンに話せる内容なら良いのではと思います。

●学校教育部長

今はゲームの時間を守るよう約束をされているとのことで、いずれスマートフォンを持つときにもそういった約束が大事になってくると思います。周りが機器を持っていても、親が連絡をとれるようにするなど、家庭の方針を決めて子どもと話し合っていたいただきたいと思います。

本日はスマートフォンを持たせていない御家庭が多く、ある意味安心しました。便利な物で、大人もなくては困るものではありませんが、トラブル、危険は想像しているよりもあります。無料通話アプリ内でのいじめ、知らない大人とつながり犯罪に巻き込まれるケース。動画投稿サイトで顔を出してしまったり、友達と一緒に写っている写真をSNSで公開してしまい、知らないうちに個人情報が知られてしまうなど。学校では子どもたちに対して、スマートフォンの安全教室を実施しています。保護者の方も参加できるようになっていますので、機会があれば一緒に話を聞いていただければと思います。大人も理解した上で、どうやってスマートフォンと関わっていくのか、子どもに示してあげながら、危険から守ってあげられるように働きかけていただきたいと思います。

●市長

しっかりとした考えの話を聞かせていただきました。自治会の方々は皆さんと一緒に活動したいと思っています。スマートフォンの話にも共通しますが、想定外の何か起きたとき、助けてくれるのは地域の方です。人のつながりで社会が構成されていますので、そういったことを頭の隅に入れておいていただきたいと思います。

いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。